



2023～2024年度
国際ロータリーテーマ



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

APRIL.3.2024 第2098回

会長/上原 達 幹事/松山賢太郎 会報委員長/玉井権太郎

例会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>
E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

「赤松小三郎」について



歴史小説家 小栗 さくら様

歴史作家、タレント、歴史アーティストとして活動しております、小栗さくらです。2022年に、赤松小三郎に関する小説「波紋」を収録した単行本（『余烈』講談社）を出版いたしました。

今回は、赤松小三郎について、小説「波紋」に触れながら語りしたいと思います。小三郎に興味を持ったきっかけは、彼を暗殺した人物薩摩の中村半次郎からでした。この人物は「人斬り半次郎」の名で広く知られています。のちに西郷隆盛の側近として西南戦争を戦う、桐野利秋と同一人物です。そんな人斬りの異名がある半次郎ですが、戦争等を別として、人を殺めた記録はたった一人だけというのです。そしてその一人こそが赤松小三郎でした。小三郎は幕末の洋学者であり、議会政治を提唱した先進的な人物でした。



小三郎はなぜ暗殺されたのでしょうか。薩摩側としては「薩摩藩内に影響を及ぼす密偵（小三郎）の排除」と考えられています。しかし、小三郎の目指した世界を考えると、それは非常に気の毒な判断でした。小三郎は何を目指していたのか、その人生を追っていききたいと思います。

小三郎は天保2（1831）年4月、信州上田松平家の家臣、下級武士・芦田勘兵衛の次男として生まれました。のちに赤松家に養子に入ります。生家・芦田家は武士の中でも貧しい約15石でしたが、赤貧の中でも、小三郎は学問の面では恵まれていました。父は藩校・明倫堂の句読師ですので漢文はもちろん、叔父の和算の塾に通っていたので数学もよく学べる環境にありました。対する中村半次郎は、小三郎の家の三分の一ほどの五石しかなく、厳しい環境で育ったようです。小説「波紋」ではそのあたりもキーになっています。

18歳で江戸へ遊学した小三郎は、内田弥太郎の数学塾に入門し、才能を開花させ、22歳で西洋兵学者の下曾根信敦の塾に入門。安政二年には勝海舟の門人となり、長崎海軍伝習所に海舟の従者として赴きました。小三郎は、

長崎滞在中に、蘭兵学書の翻訳を3冊出しています。江戸へ戻った小三郎は、「万延遣米使節」随員の「咸臨丸」への乗船を望みました。しかし主君失脚もあり叶いません。この時詠んだ「春風や東に霞む船二つ」は、自らの夢の霞がにじみ出ているように思えます。

慶応2年、『英国歩兵練法』全5編8冊の翻訳を完成させます。ここから躍進した小三郎は、政治的な活動も活発になっていきました。幕府や若き主君・松平忠礼への建白書は目を見張る内容で、幕政・藩政批判ともとられかねない勇気ある意見書でした。

その後、小三郎は薩摩からの勧誘で、指導者として薩摩藩に招かれます。京都の薩摩藩邸内に塾を開設し、薩摩藩士たちへ英国式の兵学を教え、調練することとなりました。門人は約800名ほどで、その中には日露戦争で活躍する東郷平八郎もいました。小三郎は私塾も開き、どの藩の人間であっても分け隔てなく教えたそうです。

小三郎が目指したのは英国を参考にした選挙による議会政治でした。諸官吏を門閥に関係なく選ぶこと、上下二局の議政局、人民が自由に職業を選べることなど、幕藩体制の中で先の先を見た政治構想を持っていたのです。

また、小三郎は幕府と薩摩が手を取る「幕薩一和」が必要だとも考えていました。会津や幕府、薩摩など諸藩を結ぶために奔走した小三郎でしたが、薩摩の内情を探りたい会津の動向もあり、半ば巻き込まれる形で「幕府の密偵である」と薩摩側に受け取られてしまいます。小三郎を「密偵では」と探っていたのは、門人である中村半次郎でした。そして上田への帰国を決めた直後、小三郎は暗殺されてしまいます。しかし、のちに半次郎は小三郎を殺めたことを悔い、惜しいことをしたと語ったといひます。明治に生きていたのなら、新しい時代を率いる人物の一人になったに違いない小三郎。真田だけでなく、上田でもっと浸透することを祈っています。



- 司 会 飯島裕也君
- 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ゲ ス ト 小栗さくら様(歴史系アーティスト、歴史小説家)
趙 天樹君(米山奨学生)
- 4月慶祝 ※次回に掲載いたします
- ラッキー賞 北野英明君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 後藤正直君(蓑輪よりセブンイレブン長池店(手塚君)のおやき)
竹内 強君(工藤君よりディズニーシーのお土産)



■会長挨拶 上原 達 会長

「春の全国交通安全運動2024」が4月6日～15日までの10日間にかけて実施されます。特に4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」となっております。

今年度の【交通安全運動の重点】項目は、

- (1) こどもが安全に通行できる道路環境の確保と安全な横断方法の実践
- (2) 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- (3) 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守 となっております。

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。となっております。

この時期は、真新しい黄色い大きなヘルメットを被って、とすれば前が見えない上に、大きなランドセルを背負い歩くのだけでも大変そうな新入学の小学生が、慣れない通学路を歩いております。新中学生、新高校生になった学生も慣れない道を自転車通学しています。新社会人や大学生になった人は、若葉マークを付けて慣れない自動車の運転でドキドキしながら運転しています。皆さんの身近な方、お子さんやお孫さんにも、こうした方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

重点項目の中でも(1) こどもが安全に通行できる道路環境の確保と安全な横断方法の実践については、新学期が始まり、急な飛び出し、慣れない自転車の運転、赤信号での横断など、こどもたちの行動は想定できない点が多いためこどもの交通事故が多発しますので車を運転する我々大人たちが注意をしていきたいと思っております。

私は、大学時代の4年間、夏休みとかの長期休みの際

に帰省して花屋さんでアルバイトをしていました。その際に、天寿を全うされた高齢の方のご葬儀に生花をお届けするとご親族の皆さんは穏やかにされているのですが、小さいお子さんが交通事故で亡くなられたお宅への配達には、言葉では言い表せない状況で、その場を早く立ち去りたい思いしかありませんでした。そのような悲劇は起こさないようにしていきたいものです。

そのためには、何よりも(2) 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行が大切です。皆さんも初心に戻っていただき「春の全国交通安全運動」に家庭や職場でもお声がけをしていただければと思います。

自転車に乗る方のヘルメット着用率が1割程度との新聞記事を見ました。恰好が悪いとか、邪魔だとか、色々な原因の一つに置き場がないとの理由がありました。高校生の場合は、盗難の心配からヘルメット置き場がないとの理由から義務化に踏み切れないといった現場の話をお聞きしました。被らない理由はともあれ、ヘルメットを被っていることにより防げるケガも多いと思っております。

全国交通安全運動にちなんでお話をさせていただきました。

■ロータリー財団より認証バッジ届く。

ご寄付の認証として、ロータリー財団より西入君にバッジが届きました。ご協力、ありがとうございました。

西入悦雄君：マルチプル・ポール・

ハリス・フェロー5回目



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	49	12	—	75.51%
前々回	52	47	13	9	91.49%

ニコニコBOX (敬称略)

飯島(裕)、飯島(洋)、石井、上原、遠藤、小田中、北村工藤、後藤、小林、佐藤、塩之入、関、滝澤、玉井、田守塚田、手塚(多)、手塚(た)、西入、浜野、松山、水出、蓑輪宮坂、母袋(創)、母袋(卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺 ※遠藤隆幸君/小栗さん、お話し楽しみにしております。 ※田守正彦君/小栗様、お話し楽しみにしております。

※母袋創一君/さくらさん、ようこそ。お久しぶりです。 ※母袋卓郎君/April fool生まれの家内です。今年も何の嘘も思い浮かばず終わりました。

※蓑輪佳明君/何とか新年度を迎えることができました。 ※後藤正直君/例会に来る途中、上田公園標本木のソメイヨシノの前で市の職員が、開花宣言しようか、まだか、思案中でした。

※柳澤 誠君/台湾でも地震があったようです。被害が少ない事を祈ります。

本日の金額/65,000円 累計/1,088,000円